

令和6年度伊丹市教育委員会指定

研究発表会



未来を切り拓く力の育成

～主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善～



令和6年11月6日（水）

伊丹市立荒牧中学校

はじめに

本校では伊丹市教育委員会の指定を受け、令和4年度より3年間、学校教育目標『自ら考え、行動し、未来を創造できる生徒の育成』の具現化を図るため、『未来を切り拓く力の育成～主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善～』をテーマとして、研究に取り組んでまいりました。

近年、急速に発展を遂げたグローバル化の進展、絶え間ない技術革新等により我々の社会構造は大きく変化し、多様性をもたらすなど、生活を大きく変化させました。社会を予測することが困難な激しい変化の時代を生き抜く子どもたちには、想定外の事象と向き合い対応する力や不透明な未来を切り拓く力が求められています。

本校では、自己のみならず、主体的に他者と協力・協働しながら未来を創造できる生徒の育成を目指し、“チーム荒牧”となって取り組んでまいりました。生徒が活躍できる学習環境を整えるために、“教え合い学習”を取り入れ、安心して学ぶことのできる“居場所”を授業内につくるとともに、主体的・対話的な学習を実践し、日々の授業や学校行事などに新たな取り組みを加えてまいりました。

また、自尊感情や自己有用感の高まる学習集団づくりを醸成するため、「個々の実態に応じ、子どもの権利を尊重した指導の充実」をねらいとした人権教育にも取り組み、自らの力で未来を創造できる生徒の育成を目指してまいりました。これらの取り組みの成果が、自らの可能性を最大限に伸ばし、学びの成果を社会の様々な場面で発揮できる力につながることを確信しております。

本日は、これまでの研究成果と授業実践の一端を報告させていただきます。まだまだ研究途上でありまうので、ご忌憚のないご意見をいただき、今後の研究に繋げていければと考えております。

最後になりましたが、本校の研究推進に多大なお力添えを賜りました、太成学院大学 人間学部教授 伊藤 博 様、伊丹市教育委員会の皆様をはじめ、本校の教育活動にご支援いただいております PTA、地域の方々に感謝申し上げ、ご挨拶とさせていただきます。

令和6年11月6日

伊丹市立荒牧中学校

校長 山崎 佳恵



伊丹市立荒牧中学校研究構想図

学校教育目標

自ら考え、行動し、未来を創造できる生徒の育成
～感謝する心、確かな学力、健やかな心身を育てる～

研究主題

未来を切り拓く力の育成
～主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善～

研究仮説

- ・生徒の活躍できる学習環境を設定することで、主体的に取り組み、様々なことに対して受け身の姿勢ではなく自ら考え行動する力の育成ができる。
- ・言語活動を通して、自分の考えを論理的に説明したり、相手の意見を理解したりすることでコミュニケーション能力を向上することができる。
- ・目的と相手意識を持つことで、物事を多面的に深く考えて問題解決に導く力を養うことができる。

研究内容

学年を超えた 生徒同士の教え合い	授業改善	学習補充の具体策
○総合の時間を活用した数学の教え合い学習“ROSE タイム”の実施 ○体育大会生徒会種目“ROSE ロープ”の実施	○授業づくりポイントの作成・実践 ○めあての明示 ○全教科共通振り返りシートの活用 ○教え合い学習の実施 ○ICTを活用した学習指導 ○定期的な学習アンケートの実施 ○学習指導計画の作成 ○全職員による授業参観 weeks の実施 ○校内研究授業の実施 ○自主研修の充実 ○教科部会の充実	○全校生徒によるコミュニケーション・トレーニング(書く・聞く・話す力の向上)の実施 ○タブレットを活用した終礼学習の実施 ○毎日連絡帳を書く時間“コネクト 120～明日に・家庭に・未来に繋がる2分間～”の設定(吹奏楽部によるオルゴール演奏を放送) ○自主学習ノート“MY 学”の活用 ○土曜スクールの実施 ○学習会の充実



全国学力・学習状況調査 生徒質問調査より

○学校に行くのは楽しいと思いますか。

実施年度	荒牧中学校	全国
R6 年度	89.1%	83.8%
R5 年度	84.3%	81.8%
R4 年度	77.4%	82.9%

○先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか。

実施年度	荒牧中学校	全国
R6 年度	90.1%	90.4%
R5 年度	88.8%	87.3%
R4 年度	80.8%	86.6%

○人が困っているとき、進んで助けていますか。

実施年度	荒牧中学校	全国
R6 年度	93.5%	90.1%
R5 年度	93.3%	88.1%
R4 年度	89.9%	88.4%

○将来の夢や目標を持っていますか。

実施年度	荒牧中学校	全国
R6 年度	77.1%	66.3%
R5 年度	75.4%	66.3%
R4 年度	65.6%	67.3%

○自分と違う意見について考えるのは楽しいと思いますか。

実施年度	荒牧中学校	全国
R6 年度	75.4%	76.2%
R5 年度	74.3%	77.6%
R4 年度	71.2%	76.9%

学校評価アンケートより

○授業は分かりやすく楽しい。

実施年度	荒牧中学校
R5 年度	87.9%
R4 年度	84.8%

○学校の授業以外に普段どのくらい勉強しますか。（2 時間以上）

実施年度	荒牧中学校
R5 年度	25.4%
R4 年度	20.5%

○コミュニケーション・トレーニングを通して、

「書く力・聞く力・話す力」がより身に付いたと思う。

実施年度	荒牧中学校
R5 年度	81.3%
R4 年度	81.3%



求められる教育と生徒の実態

これからの社会は、グローバル化の進展、絶え間ない技術革新等により社会構造が大きく急速に変化し、予測が困難な時代を迎えることになる。超スマート社会（Society5.0）という新たな時代が到来しつつある今、社会変化に対応する受け身の姿勢ではなく、変化を前向きに受け止め、感性を働かせて、一人ひとりにとってより豊かな未来を切り拓く力が必要となる。そのための資質・能力として、自ら課題を見つけ、自分で考え判断し、表現する力、対話や協働を通して知識やアイデアを共有し、新しい解や納得解を生み出す力が求められている。

本校生徒の全国学力・学習状況調査などの結果から、「人の役に立つ人間になりたい」と回答する割合は全国平均と比べて高い。

一方、「家庭学習の時間」や「学校に行くことに楽しさを感じる」の割合は全国平均と比べて低いという課題があった。そこで、生徒に役割を与え、主体的・対話的な学習を通して安心して活躍することができる居場所づくりを目指して生徒同士の教え合い学習を取り入れた。その結果、学習や学校生活に対する意識が少しずつ高まり始めた。令和5年度以降は総合的な学習の時間を活用し、同学年だけでなく異学年を交えての教え合い学習“ROSE タイム”をはじめ、各教科の授業や学校行事においても教え合い学習を積極的に取り入れている。

ROSE タイムとは？

ねらい

○自己肯定感の向上

得意を活かし、相手に解説することで自分の理解の度合いを再認識するだけでなく、達成感や自己肯定感を高めることができる。また、苦手分野に向き合い、分からないことはすぐに相手に聞くことができる環境は、安心感を持って粘り強く学習するための礎となる。アメリカ国立訓練研究所の「学習定着率に関する研究」では、「他人に教える」ことによる学力の定着度は最も高いと検証されており、学力向上に繋がることが期待される。

○学力の向上

○コミュニケーション力の向上

さらに、相手の立場に立って言葉を選び、自分の気持ちを言葉で表現することはコミュニケーション力の向上に繋がる。将来社会に出て様々な年齢の人と関わることを見据え、同学年だけでなく、異学年間での交流の機会も設定している。

名称について

令和5年度、数学の教え合い学習の本格実施に向けて、2・3学年の生徒を対象にプレ研修を行った。その際、全職員でネーミングを考え、“ROSE タイム”という名称に決まった。

この名称には、以下の意味が込められている。

○ 校区内に伊丹市随一のバラの名所として知られる荒牧バラ公園があることから、荒牧中学校とバラの結びつきがある。

○ ROSE タイムは以下の頭文字を採用し、「生徒が活発に知識を得たり、伝えたりできる」時間としている。

[R…Receive O…Output S…Student E…Energy]



生徒・教師の役割

- 数学を教える側の生徒をチューター、教わる側の生徒を ST(スチューデント)とする
- 各教室の TU の中からリーダーを選出し、司会進行はリーダーが行う
- 各教室の担当教師は、机間巡視をしながら生徒を見守り、学習指導はチューターに任せる

I 年間の主な流れ

〈1 学期〉

- 定期テスト等を参考としたチューターの選抜・依頼
- グループ編成（校内研修にて異学年職員との情報共有）
- 各教室における担当職員の決定
- 第 1 回チューターズミーティングの実施（ROSE タイムの説明・教える側の心得）
- 全校集会にて全校生徒への周知・チューター任命書の授与
- ROSE タイム実施の 1 週間前にチューターへ数学の問題及び解答用紙の配布
（チューターは予習する・質問がある場合は、事前に数学科に相談する）
- ROSE タイム（生徒アンケートをもとに職員研修）

〈2 学期〉

- 第 2 回チューターズミーティングの実施（工夫・悩みの共有）
- ROSE タイム実施の 1 週間前にチューターへ数学の問題及び解答用紙の配布
（チューターは予習する・質問がある場合は、事前に数学科に相談する）
- ROSE タイム（生徒アンケートをもとに職員研修）

〈3 学期〉

- ROSE タイム実施の 1 週間前にチューターへ数学の問題及び解答用紙の配布
（チューターは予習する・質問がある場合は、事前に数学科に相談する）
- ROSE タイム（生徒アンケートをもとに職員研修）
- Thank you メッセージの作成・校内掲示
- I 年間の総括



授業過程

学習活動	指導上の留意点	担当教師
数学科教師は数学演習プリント、確認プリント、解説を準備しておく。ROSE タイムの一週間前を目安に、担任はプリントを配布し、チューターに事前学習をさせる。(質問がある場合は、数学科に聞きに行くように指示する。) 授業開始までに、生徒は筆記用具・ファイル・ホワイトボードセット&座席表・数学の教科書を準備し、座席をグループの隊形にする。		
○リーダーは前に出て挨拶する。(2分) ・リーダーは、各グループのチューターにコミトレ用紙を取りにくるように指示し、配布する。(チューターはSTの分の用紙を取る) ○コミトレを行う。(10分) ・2種類の用紙がある場合は、白色がチューター・グレーがSTとする。 ・用紙はファイルに綴じる。 ○リーダーは各グループのチューターに演習問題を取りにくるように指示し、配布する。 ・リーダーはタイマー(7分)をセットする。 ・演習プリントに取り組む。(分かる所から良い) ・チューターは、STが問題に取り組む様子を見守り、必要に応じてヒントなどを伝える。 ○リーダーは答え合わせと教え合い学習の指示をする。 ・リーダーはタイマー(10分)をセットする。 ・チューターが答えを伝えて、各自赤ペンで答え合わせをする。間違ったところや分からなかったところをチューターが教える。 ○リーダーは各グループのチューターに確認問題を取りにくるように指示し、配布する。 ・リーダーはタイマー(7分)をセットする。 ・確認プリントに取り組む。 ・チューターは、STが問題に取り組む様子を見守り、必要に応じてヒントなどを伝える。 ○リーダーは答え合わせと教え合い学習の指示をする。 ・リーダーはタイマー(10分)をセットする。 ・チューターが答えを伝えて、各自赤ペンで答え合わせをする。間違ったところや分からなかったところをチューターが教える。 ・スクールタクトの解答を見ながら各自赤ペンで答え合わせをする。間違ったところや分からなかったところをチューターが教える。 ・全問正解者は、チャレンジ問題に取り組む。 ○リーダーは振り返りシートの記入を指示する。 ・リーダーはタイマー(3分)をセットする。 ・ファイルの振り返りシートを記入する。 ○リーダーは前に出て挨拶をする。(1分)	○全員が起立し、体はリーダーに向けて挨拶をする。 ○コミトレを実施し、「話す力」の定着を図る。(初回は自己紹介) ○分かる所から解かせる。 ○チューターだけでなく、STも積極的に言葉を発する。 「分かった。」「どうして?」など ○分かる所から解かせる。 ○チューターだけでなく、STも積極的に言葉を発する。 「分かった。」「どうして?」など ・チャレンジ問題を終えた生徒は、チューターが数学の教科書の問題やオリジナルの問題を作成する。 ※何もしない時間を作らない。 ○チューターは工夫したことや次回に向けた取り組みを書く。STはスコアと共に、分かったことや感じたことを書く。	○全生徒に用紙が行き渡っているか確認する。 ○コミトレ担当は、開始1分後を目安に放送する。 ○机間巡視する。 教師は生徒を見守り、学習指導はチューターに任せる。 ○机間巡視する。 教師は生徒を見守り、学習指導はチューターに任せる。 ○机間巡視する。 教師は生徒を見守り、学習指導はチューターに任せる。 ○机間巡視する。 教師は生徒を見守り、学習指導はチューターに任せる。 ○数学科代表者は、全生徒のスクールタクトに解答を送信する。 ○忘れ物を確認し、教室を施錠する。
・時間が足りない場合は、授業後にスクールタクトの解説を確認する。 ・他学年を教えるチューターは教室へ戻り、自学年のプリントを受け取る。		



ROSE タイムの振り返り（一部抜粋）

チューター(教える側の生徒)

○自己肯定感の向上

- ・今までリーダー的な役割や、何かを人に教える機会はなかったから、ROSEタイムで経験できて良かった。これを機にやっていきたいです。
- ・人に教えることが好きなので貴重な体験をできました。最初は全然分かってもらえてなかったけど回数を重ねるごとに教え方がわかってきてSTが全問正解してくれたりして自分自身もすごく成長しました。
- ・人に教えることで、教育の分野に興味がわいてきました。

○学力の向上

- ・数学の言葉を使って教えることができたし、今まであいまいだったところが説明をすることで自分もしっかりと理解することができました。
- ・授業で習ったところも、いざ人に教えるとなると意外なところが抜けていたり、分からないところがあったりするから、日頃の授業からもっとしっかり受けようと思いました。
- ・相手の間違ったところ、分からないところを理解して教えるのは難しく、またその質問にスムーズに答えることができなかつたりしたので、予習をすることが増えました。
- ・人に数学を教えることで、数学を勉強（復習も）しようという意欲が高くなりました。
- ・教えることや数学を勉強する意欲が高くなりました。

○コミュニケーション力の向上

- ・どうすればSTが分かるようになるかを考えて、言葉で説明することは、自分の成長にも繋がると思いました。
- ・相手の目線に立ち言葉を使う力が身につきました。

ST(教わる側の生徒)

○自己肯定感の向上

- ・数学がちょっと好きになって、結構できるようになって嬉しかったです。できた達成感と嬉しさを知ったのでこれから楽しく数学ができそうです。
- ・問題に向き合おうとする気持ちが（無理だと思っても少し考えてみようという気持ち）が前より少し増えました。

○学力の向上

- ・分からない所をそのままにせず、聞いたり考えたりすることで、解ける問題が増えてテストにも繋がりました。最初は緊張したけど、段々ROSE タイムが楽しく感じました。自分は成長したと思います。
- ・教え合うことで理解が深まるということを学びました。受験勉強にも教え合いは必要だと思いました。
- ・数学についてわからなかった単元も先輩が教えてくれたことによって、理解が深まり、勉強が楽しいと思うようになりました。
- ・計算が速くなって、数学が以前に比べて好きになりました。
- ・苦手な数学も自分からやろうと思いました。
- ・今まで以上に、数学に興味を持つようになってきました。

○コミュニケーション力の向上

- ・問題をちょっとでも多く解けるようになったり、分からないところはすぐにチューターの人に聞けるようになったり、数学の力だけでなくコミュニケーション能力も上がりました。
- ・質問ができるようになり、相手の説明をちゃんと聞けるようになりました。



R5年度ROSEタイムアンケートより

○ ROSE タイムを通して、得意・不得意な教科に関わらず、学習に対する意欲が上がった。

78%

○ ROSE タイムを通して、人に教えたり伝えたりするときは、相手が理解しやすいような説明を心がけるようになった。

99%

○ ROSE タイムで配布された問題以外に、ST に合わせて事前に問題を考えるなど準備ができた。

※対象：チューター

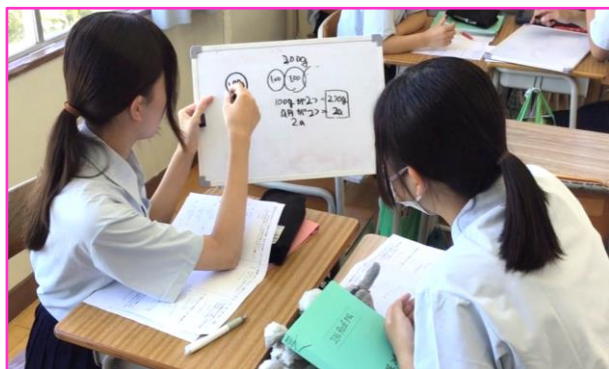
70%

○ ROSE タイムを通して、分からない問題はそのままにせず、相手に聞けるようになってきた。

※対象：ST

96%

[ROSE タイムの様子]



[コミュニケーション・トレーニング“コミトレ”の問題例]

聞く力のスキルアップ

コミュニケーション・トレーニング No.1 6 (令和5年9月12日)

年 組 氏名 _____

共通点と相違点

＜問題＞ 消費期限と賞味期限について、表にまとめてみましょう。(各1点)

期限表示の大前提

① _____

相違点

	消費期限	賞味期限
意味の違い	② _____	③ _____
期限を過ぎたら	④ _____	⑤ _____

おまけ→ 『常識』とは？

⑥ _____

＜自己評価＞

1 集中して聞くことができたか

2 要点のメモがうまくできたか

3 内容をしっかりつかむことができたか

得点者 氏名 _____

得点合計

6

書く力のスキルアップ

コミュニケーション・トレーニング No.2 7 (令和5年12月5日)

年 組 氏名 _____

どちらか選び理由を伝え合う

＜問題＞

すべての楽器の達人になれるか、すべてのスポーツの達人になれるか。

どちらか選んでその理由を2つ以上書きなさい。

＜書き始め＞ 私は、すべての〇〇の達人になりたいです。理由は〇つあります。

1つ目は…

〇基準の線(太線)までを丁寧に書くこと

(太線が基準の線 20字×6行)

＜評価の基準＞

1 基準の線まで書けているか。(2点)

2 書き始めは、指示どおりか。(2点)

3 理由が2つ以上書かれているか。(2点)

4 文字が正しいか、読みやすいか。(2点)

得点合計

8

＜自己評価＞

1 基準の線まで書けているか

2 相手に伝わりやすい理由を心がけたか

3 理由が2つ以上書かれているか

4 読み手に伝わったと思うか

得点者 氏名 _____

得点合計

5

話す力のスキルアップ

コミュニケーション・トレーニング No.3 7 (令和6年 2月29日)

年 組 氏名 _____

荒中好きな場所討論会

荒中中学校で好きな場所を1つあげて、ペアとどちらの場所が魅力的かを話し合います。

＜問題＞

卒業式が迫ってきました。3年生は、今まで通ってきたこの学校とお別れになりますね。

そこで今回は、「荒中お気に入りの場所」を1つ決めて、どちらがより魅力的かを討論してもらいます。

＜方法＞

1 ペアで話し合います。

2 1人1人、お気に入りの場所を1つ書きます。(30秒程度)

3 なぜその場所が好きなのか、箇条書きで書きます。(1分程度)

4 話すときは、机を離れて、お互いに正面を向き合います。

5 相手の目を見て話し合います。

6 相手側の人から話し合います。

7 話し手は、熱意を持って、相手に話します。

8 聞く人は、相手を打たたりしながら、しっかりと聞きます。

9 1人が話し終わったら、それに対して反論をします。

10 反論されたら、それに対して応答をします。

11 お互い2分ずつ、好きな場所を語り合います。

12 下の項目に沿って評価します。

＜評価の観点＞

1 相手の人に評価してもらいます。

2 1人1人見ないで、相手に話を見て、しっかりと聞いているか。

3 良いところを少なく言っているか。

4 熱意が伝わっているか。

5 わかりやすい話し方だったか(声・速さ等)。

6 適切な言葉を選んで話しているか。

得点合計

5

＜自己評価＞

1 相手のことを思いやりながら話せたか。

2 熱意を込めて話せたか。

3 相手の反応をみながら話せたか。

4 相手を納得させたかと思うか。

得点者 氏名 _____

得点合計

5

[ROSE タイム Thank you メッセージ (チューター・STへ感謝のメッセージ) の校内掲示]



[“ROSE ボード”で研究の取り組みを可視化]



[チューター任命証]



様々な場面での教え合い

全校生徒による数学教え合い学習“ROSE タイム”

- 総合の時間を活用し、全校生徒で取り組む ROSE タイム
- 各担当の教室に行き、生徒同士の数学の教え合い学習を実施



各教科の授業における教え合い学習

- ROSE タイムをはじめ、各教科の授業においても教え合い学習の場面を設定
- 数学以外の教科でも得意を活かし、生徒が活躍できる機会を増やす



学校行事における教え合い活動“ROSE ロープ”

- 体育大会の生徒会種目では、1～3の全学年でグループを編成
- 各グループの長縄跳びの回数と応援を競う
- 各クラス2名のチューターが中心となって、長縄跳びの作戦を立てたりアドバイスしたりする
- 3年生のチューターは、グループの絆が深まる応援を考え、下級生に教える
- 体育大会当日は、長縄を跳んだ回数の表彰とは別に、最も団結し絆が深まる応援をしていたグループを来賓が審査し、表彰する



各教科の授業における教え合い学習の実践例

〈国語〉

対象学年（ 3 年 ）	単元（ 故事成語 ）
「教え合い学習の内容」	
国語便覧を用いた故事成語の授業を、教え合い学習の内容に合わせる。 ①故事成語の中で、知っているものを2つ選び出す。 ②知っている2つについて、意味や成り立ちを詳しく調べ、簡単な資料を作成する。 ③自分が自信を持って相手に教えられるように、プレゼンの準備をする。 ④グループに分け、互いに教え合いをする。 ⑤自分の知らないものを教えてもらえた場合は、質問などを繰り返し理解を深めていく。 ⑥最後に今回の授業で「新たに知ったこと」と「より深まったこと」を振り返りとしてまとめる。	

〈数学〉

対象学年（ 3 年 ）	単元（ 入試対策 ）
「教え合い学習の内容」	
チューターとSTが隣同士になるような座席にしておき、3～4人組のグループをつくっておく。 （ある程度人間関係も考慮しておく） ①30分ほどで過去問を解く。 ②答え合わせを行う。（2～3分） ③わからなかったところをグループで教え合う。（7～8分） ※教え方に困っているチューターや教えてもらっても分からないSTがいらないか巡視する。 ④グループの中で誰も教えることができなかった問題を解説する。（10分）	

〈社会〉

対象学年（ 2 年 ）	単元（ 全て ）
「教え合い学習の内容」	
①チューターとSTをペアにして音読させ、読み方やグラフの見方を教え合う時間を設ける。 ②調べ学習では、調べた内容ごとにチューターを作り（例えば「気候チューター」と「地形チューター」）、お互いに調べた内容を教え合う。 ③グループ活動では、チューターを必ず1人は配置し、グループのSTに対してアドバイスをする。	

〈理科〉

対象学年（ 全学年 ）	単元（ 応用問題・動物のなかま分け・実験 ）
「教え合い学習の内容」	
A ①応用問題を解く際に、まずは全員同時に取り組む。解けた生徒から挙手、もしくはスクールタクトで提出ボタンを押し、教師が採点する。 ②正解者はチューターとなり、周囲に解けた生徒がいれば正解しているかを確認する。 ③STに対しては、教師だけでなく解けたチューターも一緒に教えることで理解を深める。 B ①動物のなかま分け（ちりめんモンスター）の実験をする中で、ちりめんの中から見つけた生物を見つけた時に、脊椎動物か無脊椎動物か、また、何類に分類されるかを班に報告する。 ②分からない場合は班のチューターの考えを聞く。 C ①実験・考察を実施し、考察が深まった班の中で教え合いを実施する。班全員をチューターとして各班に派遣し、STの生徒に伝える。 ②計算問題の際には、よく理解できている生徒をチューターとして各班に派遣し教え合いを実施する。	

〈英語〉

対象学年（ 1 年 ）	単元（ ALT との会話練習 ）
「教え合い学習の内容」	
①4人組のグループを作る。各グループに2人程度英語が得意な生徒をチューターとして配置する。 ②既習表現を使ってALTがグループの1人ひとりに英語で質問する。 ③答え方を示すために、チューターから質問に答える。 ④質問に英語で答えられない生徒や、単語のみを答える生徒に対してチューターがフォローする。 ⑤チューターが代わりに答えるのではなくヒントを伝えたり、ALTに“Please say that one more time.”のように、STのためにもう一度質問をしてくれるようお願いしたりする。	



成果と課題

[成果]

ROSEタイムでは、チューターは予習をして問題の理解を深め、相手に教えることでさらなる学力の定着が見られた。さらに、相手の目線に立って分かりやすい説明を心がけることでコミュニケーションスキルを高めることができた。また、いつでも質問ができるという学習環境は、STにとって粘り強く最後まで取り組むことができるという安心材料となった。「自分も教える立場になりたい」というチューターへの憧れから学習意欲が高まった生徒も多い。

ROSEタイムをはじめ、各教科の授業においても生徒同士の「教え合い」の場面を設定した。様々な授業でチューターが増えたことは、多くの生徒の達成感や自己肯定感の向上に繋がった。得意を活かし、活躍できる場があることは学校内での生徒の居場所となっている。

令和5年度以降は体育大会などの学校行事においても、「教え合い」の場を設定した。長縄を使った「ROSEロープ」という生徒会種目を立ち上げ、異学年間での「教え合い」活動を通して交流を深めている。

[課題]

チューターを選出するための十分な判断材料が必要である。特に、年度当初の1年生は参考となるものが限られているため、選出が難しい。活動がチューター任せにならないために、問題の解き方や教え方のコツを伝える事前指導の在り方や、教師の役割をさらに徹底する必要がある。また、人間関係に配慮したグループ編成になるように、学年の枠を超えた生徒理解が大切である。

各教科においては、実践例を参考に「教え合い学習」を活性化するための研鑽に励み、生徒が主体的に学習し、活躍できる環境をつくる必要がある。



研究のあゆみ

R4. 4 研究テーマ

未来を切り拓く力の育成

～主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善～

5 校内研修会

- ・授業づくりポイント

6 校内研修会

- ・特別支援教育
- ・生徒理解

7 夏季研修会

- ・Q-U分析
- ・リーダー育成
- ・気になる生徒へのアプローチ
- ・WISC-IVの読み取りと活用
- ・特別支援教育
- ・生徒理解

8 夏季研修会

- ・未来を切り拓く力の育成に向けた授業づくり
- ・Google機能の活用
- ・サイバー犯罪防止
- ・小中連絡会

9 授業参観weeks

11 校内研修

- ・授業参観weeksの振り返り

12 校内研修

- ・道徳評価

R5.1 校内研究授業（英語）

2 校内研修

- ・デジタル採点
- ・数学教え合い学習プレ実践

3 校内研修

- ・1年間の総括

4 未来を切り拓く力の育成

～主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善～

4 校内研修会

- ・デジタルドリル、デジタル採点

5 校内研修会

- ・教え合い学習(ROSEタイム)

6 校内研修会

- ・保護者対応

6 授業参観weeks

7 夏季研修会

- ・エゴグラム
- ・サイバー犯罪防止
- ・道徳評価

R5. 8 夏季研修会

- ・Q-U分析
- ・授業参観weeksの振り返り
- ・生徒指導、生徒理解、傾聴スキル
- ・小中連絡会

10 校内研修会

- ・合唱指導

10 全校道徳『100万回生きたねこ』

11 校内研究授業（社会）（保健体育）

R6. 1 校内研究授業（理科）（音楽）

1 校内研修会

- ・学校教育の課題
- ・Q-U分析

3 校内研修

- ・1年間の総括

4 研究テーマ

未来を切り拓く力の育成

～主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善～

4 校内研修会

- ・教え合い学習(ROSEタイム)
- ・学級経営
- ・デジタルドリル、デジタル採点

5 校内研修会

- ・防犯対策

6 校内研修会

- ・「チーム学校」のあり方

6 授業参観weeks

7 夏季研修会

- ・不登校対策
- ・特別支援教育
- ・小中連絡会

8 夏季研修会

- ・Q-U分析
- ・MBTI
- ・保護者(地域)対応
- ・生徒理解
- ・第1回教科横断的指導案検討

9 校内研修会

- ・第2回教科横断的指導案検討

10 校内研修会

- ・第3回教科横断的指導案検討
- ・合唱指導
- ・評価

11 研究発表会(国語)(数学)(英語)(ROSEタイム)